

東洋法制史文献目録(平成30年 2018年)

単行本 (著編者別50音順)

著(編)者	書名	発行所
穂山 新	近代中国の救済事業と社会政策－合作社・社会調査・社会救済の思想と実践(中国社会研究叢書:21世紀「大国」の実態と展望4)	明石書店
浅野 和生編著	台湾の民主化と政権交代－蒋介石から蔡英文まで(日台関係研究会叢書6)	展転社
李 東勲	在朝日本人社会の形成－植民地空間の変容と意識構造	明石書店
一色 忠慈郎	長江要覧(アジア学叢書328)	大空社出版
井上進・酒井恵子 訳注	明史選舉志2-明代の学校・科挙・任官制度(東洋文庫899)	平凡社
井上 徹	華と夷の間=明代儒教化と宗族	研文出版
伊夫伎 孫治郎	支那長江貿易詳覧(アジア学叢書332)	大空社出版
岩本 佳子	帝国と遊牧民－近世オスマン朝の視座より	京都大学学術出版会
岩本 真利絵	明代の専制政治	京都大学学術出版会
榎本 淳一	日唐賤人制度の比較研究(同成社古代史選書33)	同成社
額定其勞・佐々木 健・高田久実・丸 本由美子編	法制史学会70周年記念若手論文集 身分と経済(以下『身分と経済』と略)	慈学社出版
及川 琢英	帝国日本の大陸政策と満洲国軍	吉川弘文館
大河原知樹・堀井 聡江・シャリーアと 近代研究会編	オスマン民法典(メジェッレ)の研究－保証編・債務引受編	東北大学大学院国際文化研究科大河原研究室
岡本 隆司	君主号の世界史(新潮新書)	新潮社
小野 仁美	イスラーム法の子ども観－ジェンダーの視点でみる子育てと家族	慶應義塾大学出版会
帯谷 俊輔	国際連盟－国際機構の普遍性と地域性	東京大学出版会
金子 修一	古代東アジア世界史論考－改訂増補 隋唐の国際秩序と東アジア	八木書店古書出版部
金子 肇	近代中国の国会と憲政－議会専制の系譜	有志舎
河原 功解題	台湾総督府第六十回帝国議会説明資料(十五年戦争極秘資料集補巻48)	不二出版
韓敏編	家族・民族・国家－東アジアの人類学的アプローチ(以下『家族・民族・国家』と略)	風響社
韓国六法編集委 員会編	現行韓国六法 改版	ぎょうせい
金日秀・徐輔鶴/ 斉藤豊治・松宮孝 明監訳	韓国刑法総論	成文堂
工藤元男先生退 休記念論集編集 委員会編	中国古代の法・政・俗(以下『中国古代』と略)	汲古書院
熊倉 和歌子	中世エジプトの土地制度とナイル灌漑	東京大学出版会
黄 昭堂	台湾総督府(ちくま学芸文庫)	筑摩書房
孔喆／岩谷季久 子訳	図説国子監－中国歴代王朝における最高学府	科学出版社東京
小林 武	中国近代思想研究	朋友書店
斎藤 照子	18-19世紀ビルマ借金証文の研究－東南アジアの一つの近世(地域研究叢書36)	京都大学学術出版会
三国志学会編	狩野直禎先生追悼 三国志論集	汲古書院
上海毎日新聞社 編著	華中貿易読本(アジア学叢書333)	大空社出版
首藤明和・王向華 編	日本と中国の家族制度研究(以下『家族制度』と略)	風響社

上智大学文学部 史学科編	歴史家の調弦(以下『歴史家の調弦』と略)	SUP上智大学出版
石 暁軍	隋唐外務官僚の研究－鴻臚寺官僚・遣外使節を 中心に	東方書店
關尾史郎・町田隆 吉編	磚画・壁画からみた魏晉時代の河西	汲古書院
宋代史研究会編	宋代史料への回帰と展開(宋代史研究会報告集 11)(以下『宋代史料』と略)	汲古書院
孫 文	中国の犯罪体系－沿革と課題	成文堂
高田幸男編著	戦前期アジア留学生と明治大学(以下『アジア留 学生』と略)	東方書店
高見澤磨・鈴木 賢・宇田川幸則・ 坂口一成	現代中国法入門 第8版(外国法入門双書)	有斐閣
高村武幸・廣瀬薫 雄・渡邊英幸編	周縁領域からみた秦漢帝国 2(以下『周縁領域』 と略)	六一書房
武内 房司編	阮朝アーカイブズの世界－ギメ美術館図書館所蔵 阮朝地方行政文書を中心に(調査研究報告67)	学習院大学東洋文化研究 所
谷井俊仁・谷井陽 子訳解	大清律 刑律1・2－伝統中国の法的思考(東洋文 庫893, 894)	平凡社
趙 景達	朝鮮の近代思想－日本との比較	有志舎
張 碧恵	中華民国と文物－国家建設に果たした近代文物 事業の役割(早稲田大学エウプラクシス叢書018)	早稲田大学出版部
朝鮮雑誌社編	朝鮮及満洲之研究第1輯－附膠州湾及山東省事 情(アジア学叢書327)	大空社出版
鄭 東俊	古代東アジアにおける法制度受容の研究-中国王 朝と朝鮮三国の影響関係を中心に(早稲田大学エ ウプラクシス叢書015)	早稲田大学出版部
陳 志勤	崇禎年間における山陰・会稽の救荒と郷紳の役割	一粒書房
戸塚 悦朗	「徴用工問題」とは何か-韓国大法院判決が問うも の	明石書店
戸塚 悦朗	歴史認識と日韓の「和解」への道-徴用工問題と韓 国大法院判決を理解するために	日本評論社
長沢 栄治	近代エジプト家族の社会史	東京大学出版会
長沢栄治監修/ 森田豊子・小野仁 美編著	結婚と離婚(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 1)	明石書店
日韓歴史家会議 組織委員会・日本 学術会議史学委 員会国際歴史学 会議等分科会・日 韓文化交流基金・ 日韓・韓日歴史家 会議	国際関係－その歴史的考察(日韓・韓日歴史家会 議報告書;第18回)(以下『国際関係』と略)	日韓文化交流基金
野田仁・小松久男 編著	近代中央ユーラシアの眺望(以下『ユーラシア』と 略)	山川出版社
巴特尔	内モンゴル近現代史研究－覚醒・啓蒙・混迷・統合	多摩大学出版会
平山 勉	満鉄経営史－株式会社としての覚醒	名古屋大学出版会
古松崇志・臼杵 勲・藤原崇人・武 田和哉編	金・女真の歴史とユーラシア東方(アジア遊学233)	勉誠出版
マークカプリオ/ 福井昌子訳	植民地朝鮮における日本の同化政策 1910～1945 年	クオン
前田七郎編	山東案内 昭和16年版(アジア学叢書325)	大空社出版
松方冬子編	国書がむすぶ外交(以下『国書』と略)	東京大学出版会
松田 恵美子	伝統中国と近代法、人	成文堂

松田利彦編	植民地帝国日本における知と権力(以下『知と権力』と略)	思文閣出版
松本 尚子編	法を使う／紛争文化 法文化(歴史・比較・情報)叢書 17(以下『法を使う』と略)	国際書院
松本 睦樹	インド省手形の起源と歴史－東インド会社手形から逆インド省手形まで(東南アジア研究叢書48)	長崎大学経済学部東南アジア研究所
矢木 毅	朝鮮朝刑罰制度の研究	朋友書店
山崎 覚士	瀕海之都－宋代海港都市研究	汲古書院
山本英史編	中国近世法制史料読解ハンドブック(以下『ハンドブック』と略)	東洋文庫
山本晴太・川上詩朗・殷勇基・張界満・金昌浩・青木有加	徴用工裁判と日韓請求権協定－韓国大法院判決を読み解く	現代人文社
ゆまに書房出版部編・解説	「満洲国」地方誌集成 第12巻～第17巻	ゆまに書房
ハーシャム・ラジャブザーデ編著／江浦公治協力／森本一夫序文	カージャー朝期イランの農業用水関連文書(東洋学研究情報センター叢刊29 ペルシア語文書集成6)	東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター
李 恩民	中国華北農民の生活誌	御茶の水書房
和田肇・脇田滋・宋剛直・盧尚憲編著	韓国労働法の展開(日韓比較労働法3)	旬報社
渡辺 信一郎	中華の成立－唐代まで(岩波新書 シリーズ中国の歴史; 1)	岩波書店
渡辺利夫著／拓殖大学創立百年史編纂室編	後藤新平の力量－台湾統治基盤はいかにして形成されたか	拓殖大学
渡邊 義浩	「古典中国」の形成と王莽	汲古書院
渡 昌弘	明代国子監政策の研究(汲古叢書155)	汲古書院

#### 論文(時代別、執筆者別50音順)

執筆者	題名	掲載誌・巻号
[アジア一般]		
池谷 望子	万暦四十年の王銀詐取事件とその背景	南島史学87
伊集院 葉子	古代東アジア女官研究の可能性	専修史学66
岡本 隆司	「東方問題」から「朝鮮問題」へ	『国際関係』
岡本 隆司	近代東アジアの「主権」を再検討する－藩属と中国	歴史学研究989
川口 洋史	一八世紀末から一九世紀前半における「プララーチャサーン」－ラタナコーシン朝シャムが清朝および阮朝ベトナムと交わした文書	『国書』
邢 万里	17-19世紀、東アジアにおける漂流問題研究	九州大学東洋史論集46
首藤 明和	日本と中国の家族制度比較研究－親密圏再考のための基礎として	『家族制度』
瀬賀 正博	(書評)日中古代法学の比較研究に関する課題－何勤華著「中華法系之法律学术考－以古代中国的律学与日本的明法道为中心」『中外法学』2018年第1期の紹介と若干の批評	法史学研究会会報22
鄭 尚秀	帝国の没落	『国際関係』
徳永 佳晃	17世紀以降のサファヴィー朝・ムガル朝関係における両君主の擬制的な親族関係－カンダハールの係争をめぐる外交書簡の分析を通じて	東洋学報 100-4
西澤 泰彦	燃えない街－1900～10年代の建築規則が求めたこと	神奈川大学アジア・レビュー：アジア研究センター年報7
水上 雅晴	東アジアの王権と年号－中世を中心に	歴史評論836

水谷 謙治	古代のシュメールと中国における初期の貸借考	立教経済学研究73-2
宮崎 聖子	(読書案内)東アジアの植民地とジェンダー(世界史の研究(258))	歴史と地理721
望月 直人	清末中国とベトナム問題	歴史と地理726
[中国一般]		
相原 佳之	民間文書の収集保存と地域資源化ー貴州省東南部錦屏県における清水江文書	アジア遊学231
井黒 忍	彫り直された伝統ー前近代山西の基層社会における水利秩序の形成と再編	歴史学研究990
内山雅生・三谷孝・末次玲子・浜口允子・リンダグロブ・笠原十九司・中生勝美・祁建民・李恩民	中国農村慣行調査研究会座談会の記録(1)再調査に至る道 2002年2月4日	近代中国研究彙報41
大澤 正昭	「酢を飲む」妻と恐妻家ー唐・宋時代の「小説」史料から	『歴史家の調弦』
岡安 勇	中国古代における帝号称謂と内禪による帝位継承に至る道筋	史観180
賀喜・デビッド・フォール／横田浩一訳	中国の宗族と家族千年史ー江西省と広東省の事例から	『家族・民族・国家』
勝山 稔	白話小説に現れた招婿婚の学際的考察ー『醒世恆言』巻二〇所載「贅婿詩」を中心として	中央大学アジア史研究43
金子 修一	中国皇帝の譲位と元号	歴史学研究会編／加藤陽子編集責任『天皇はいかに受け継がれたかー天皇の身体と皇位継承』績文堂出版
草野 友子	(書評)谷中信一編『中国出土資料の多角的研究』	日本秦漢史研究20
小林 義廣	谷川共同体論と家族・宗族	研究論集(河合文化教育研究所)14
駒込 武	(書評)小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編『中国ジェンダー史研究入門』	女性とジェンダーの歴史6
酒井 恵子	(書評)小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編『中国ジェンダー史研究入門』	東洋史研究77-4
迫田 博子	(書評)誰がためにジェンダー秩序はあるのか[小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編『中国ジェンダー史研究入門』]	お茶の水女子大学中国文学会報38
佐立 治人	脱獄の方法ー怪盗「我来也」の完全脱獄	関西大学法学論集68-6
佐立 治人	旧中国には裁判が無かったという説に対する論評	関西大学法学論集69-2
佐立 治人	旧中国の法律は「非ルールの」であるという説に対する論評	関西大学法学論集69-3
晋文／川見健人訳	睡虎地秦簡と授田制研究に関する若干の問題	東洋史苑91
角谷 常子	(書評)高村武幸編『周縁領域からみた秦漢帝国』	日本秦漢史研究20
高木 喜孝	中国の民法典編纂と儒教	日中法律家交流協会報61
高橋 孝治	中国における婚姻法制史再検討ー特に協議離婚と養育費を中心に	問題と研究:アジア太平洋研究専門誌48-1
高見澤 磨	(書評)寺田浩明著『中国法制史』	中国研究月報73-1
趙 大旺	唐宋時期敦煌社邑的經濟互助ー以借貸為中心	敦煌写本研究年報13
陳其南／首藤明和訳	家族・社会・国家ー伝統中国における「家国」意識の形成とその超克	『家族制度』
富田 美智江	古代中国の系譜意識	アジア民族文化研究18
春山 明哲	日本における台湾史研究の100年ー伊能嘉矩から日本台湾学会まで	アジア経済60-4
平田 陽一郎	(書評)宮宅潔編『多民族社会の軍事統治ー出土史料が語る中国古代』	史学雑誌128-6

福島 大我	中国古代における逃亡の歴史的意義	歴史学研究989
水間 大輔	秦漢時期的死刑与暴屍、埋葬	法律史研究室編『中華法理的產生、応用与轉變—刑法志、婚外情、生命刑』中央研究院歴史語言研究所
水間 大輔	秦漢律における不孝罪の成立要件と父母の「告」	中央学院大学法学論叢33-1
宮宅 潔	(書評)藤田勝久・關尾史郎編『簡牘が描く中国古代の政治と社会』	日本秦漢史研究20
村田 哲也	試論 中国古代医事制度序説—中国古代・中世文化史の一側面	東洋史苑91
山崎 岳	海禁とはなにか—中国史の立場から	歴史地理教育901
山田 勅之	ナシ族歴史史料—非漢文史料から見えるもの	アジア遊学231
横山 政子	(書評)小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編『中国ジェンダー史研究入門』	日本ジェンダー研究22
横山 裕	古代中国社会における官僚と福祉	九州保健福祉大学研究紀要20
鷺尾 祐子	家と女性の国制史	女性史学29
	[先秦]	
陶安 あんど	岳麓秦簡司法文書集成『為獄等状四種』訳注稿事案七	法史学研究会会報22
陶安	岳麓書院秦簡《為獄等状四種》第三類、第四類卷冊釈文、注釈及編連商榷	中国出土資料研究23
平林 美理	春秋楚の婚姻記事における婚姻規範と女性	『中国古代』
松島 隆真	爵制の淵源—戦国期以前からの検討	東洋文化研究21
横山 裕	法家思想からみた「道は法を生ず」の理論構造について—『馬王堆漢墓帛書老子乙本卷前古佚書』を中心に	九州中国学会報57
渡邊 英幸	戦国秦の内史に関する覚書	『周縁領域』
	[秦・漢]	
青木 俊介	里耶秦簡の公文書における「某主」について 岳麓秦簡・興律の規定を手がかりに	『周縁領域』
石原 遼平	秦漢時代の「徭」	東洋文化99
柿沼 陽平	(書評)松島隆真著『漢帝国の成立』	古代文化616
柿沼 陽平ほか	(書評)陳偉主編『秦簡牘研究』	中国出土資料研究23
上條 駿	蔡邕の廟制改革と董卓	鴨台史学15
紙屋正和／山根直生解題・追悼／杉村伸二監修	漢時代における郡県制の変化	七隈史学21
小嶋 茂稔	後漢の刺史の兵権行使に関する再検討	日本秦漢史研究20
小林 文治	秦における盗賊捕縛と民の臨時徴発	『中国古代』
佐々木 仁志	「漢高体制」への一、二の視点	歴史132
佐立 治人	雲夢龍崗六号秦墓から出土した木牘の一尺六寸の長さについて	関西大学法学論集69-1
佐藤 達郎	中国における職官儀注書の出現と官制叙述のはじまり	人文論究69-1
杉村 伸二	(書評)松島隆真著『漢帝国の成立』	東洋史研究78-1
荘 卓燐	漢初における符の下賜	史学雑誌128-2
荘 卓燐	出土文物から見る符節の実態—通関機能を持つ虎符と竹使符	東洋文化研究21
鷹取 祐司	漢代の民用通行証と通関名籍—肩水金關遺址出土通関名籍分析のための予備作業	立命館文学664
鷹取 祐司	従簡牘資料看漢代の上書	黄正建編『中国古文書学研究初編』上海古籍出版社
鷹取 祐司	秦漢時代の庶人再考—対特定身分説的批評	簡帛18

高村 武幸	甲卒小考—地湾出土の甲卒簡牘から	明大アジア史論集23
楯身 智志	岳麓書院藏秦簡「秦律令(壹)」尉卒令詁注(一)	史滴41
陳偉／川村潮訊	『里耶秦簡(貳)』九—四五〇号に見える稟食制度	『中国古代』
平松 明日香	後漢代における外戚政権と尚書台—尚書官人事を中心として	史林102-3
廣瀬 薫雄	1998年敦煌小方盤城出土簡牘初探 兼ねて玉門都尉府と玉門関を論ずる	『周縁領域』
水間 大輔	長沙尚徳街出土法律木牘雑考	簡帛18
宮宅 潔	關於里耶秦簡8-755~759号与8-1564号的編連	簡帛18
宮宅 潔	秦代の「徭」と「戍」—その字義をめぐって	「秦代出土文字史料の研究」班ホームページ
宮宅 潔	秦代徭役・兵役制度の再検討	東方学報94
靱山 明	(書評)永田英正著『漢代史研究』	東洋史研究78-2
鷲尾 祐子	(書評)松島隆真著『漢帝国の成立』	立命館東洋史学42
渡邊 将智	(書評)松島隆真著『漢帝国の成立』	史学雑誌128-6
渡邊 将智	後漢における郎官の再編	『中国古代』
[魏晉南北朝]		
石井 仁	宋文帝の即位とその「代邸の旧」—南朝の都督制と皇弟皇子の出鎮	『狩野直禎先生追悼 三 国志論集』
大知 聖子	爵保有者の階層にみる両晋・北魏の爵制運用の比較	名城大学人文紀要55-1
大知 聖子	北魏孝文帝の官爵改革およびその後の変質について	名城大学理工学部研究報告59
長部 悦弘	北魏孝文帝代の尚書省と洛陽遷都(8)—宗室元氏の尚書省官への任官状況に焦点を当てて	地理歴史人類学論集8
郭 永利	甘肅省高台県出土“前涼(西元373年)黄氏墓券”釈読	敦煌写本研究年報13
木村 政博	西晋(武帝期・惠帝期)における州都督	三国志研究14
小林 聡	河西出土文物から見た朝服制度の受容と変容—魏晉・五胡期、胡漢混淆地帯における礼制伝播のあり方	『磚画・壁画からみた魏晉時代の河西』
千田 豊	西晋の太子師傅	歴史文化社会論講座紀要16
平田 陽一郎	(書評)山口正晃著「將軍から都督へ—都督制に対する誤解」	法制史研究68
古橋 紀宏	曹魏明帝期の皇帝宗廟制	香川大学国文研究43
水間 大輔	魏晉南朝における死体への制裁と「故事」	『中国古代』
[隋・唐・五代]		
石野 智大	唐代の里正・坊正・村正の任用規定とその内実—『通典』郷党条所引唐戸令逸文を手がかりとして	明大アジア史論集23
岩尾 一史	チベット支配下の敦煌における都督	竜谷史壇146
江川 式部	『大唐開元礼』にみえる“如式”“如常式”について	法史学研究会会報22
江川 式部	『大唐開元礼』礼目の再検討—収載されなかった祭祀儀礼を中心に	明大アジア史論集23
榎本 淳一	(書評)趙晶著 辻正博訳「唐令復原における典拠史料の検証—『大唐開元礼』を中心に」	法制史研究68
川村 康	拳重明輕・拳輕明重と比附	法と政治70-1
川村 康	唐律坐贓条割記	法史学研究会会報22
呉 明浩	楊炎の「量出以制入」と兩税法の成立再考	東洋史研究78-1
小島 浩之	『唐六典』の編纂に関する一試論—『初学記』と『唐六典』の注	唐代史研究22
島居 一康	五代節度使の権力構造—唐宋時代の軍制と行政(IV)	唐宋変革研究通訊10
白石 将人	『江都集礼』と隋代の制礼	東方学137
孫璐・吉中信人	死刑存廢に関する一考察—唐と日本における法制史的検討	広島法学43-2
辻 正博	武英殿聚珍版本『唐会要』のテキストをめぐって	唐代史研究22

中田 裕子	唐代の同業者組合「行」とソグド商人	世界仏教文化研究論叢57
中村正人・唐律疏議講読会	(翻訳)『唐律疏議』闘訟律現代語訳稿(1)―第1条から第10条まで	金沢法学62-1
林 美希	唐・神策軍の形態変化と後期北衙の誕生	史観181
與座 良一	五代の募兵制に関する一試論	唐宋変革研究通訊10
吉永 匡史	唐代奴婢売買法制考	金沢大学歴史言語文化学系論集 史学・考古学篇11
[宋・遼・金・元]		
青木 敦	宋代法制史料	『ハンドブック』
飯山 知保	女真皇帝と華北社会―郊祀羣官からみた金代「皇帝」像	アジア遊学233
伊藤 一馬	宋代における筍子の登場とその展開	『宋代史料』
伊藤 一馬	北宋太祖・太宗期の内外軍事情勢と軍事指揮官―都部署を中心に	大阪大学大学院文学研究科紀要59
額定其勞	(書評)赤木崇敏・伊藤一馬・高橋文治・谷口高志・藤原祐子・山本明志著『元典章が語ること―元代法令集の諸相』	法制史研究68
大島 立子	元代法制史料	『ハンドブック』
大島 立子	正史「列女伝」変遷と元代の節婦思想	中国女性史研究28
鍋木 丞	北宋元豊大理寺攷―司法制度再編の一側面	集刊東洋学121
姜 密	宋代国有土地的产权转化	人文研究：大阪市立大学大学院文学研究科紀要70
久保田 和男	(書評)渡辺健哉著『元大都形成史の研究―首都北京の原型』	歴史(東北史学会)132
久保田 和男	五代宋初における南郊儀禮の變化をめぐって―三年一郊の確立	史滴41
小林 晃	元代浙西の財政的地位と水利政策の展開	『宋代史料』
小林 隆道	南宋淳祐九年における茅山加封文書の発出過程―『道蔵』所収『三茅真君加封事典』を分析対象として	『宋代史料』
櫻井 智美	(書評)渡辺健哉著『元大都形成史の研究―首都北京の原型』	歴史評論829
櫻井 智美	元代江南士人にとっての「中國」―「混一南北」の意味から考える	東洋史研究78-1
七野 敏光	元代検屍制度をめぐる一裁判案件について	法と政治70-1
清水 浩一郎	南宋末期理宗朝における執政の兼職とその序列―『武義南宋徐謂礼文書』所収の告身を手掛かりに	『宋代史料』
高橋 弘臣	南宋初期における上供米の輸送について	愛媛大学法文学部論集. 人文学編46
武田 和哉	女真族の部族社会と金朝官制の歴史的変遷	アジア遊学233
武田 和哉	猛安・謀克について	アジア遊学233
平田 茂樹	(書評)渡辺健哉著『元大都形成史の研究―首都北京の原型』	史学雑誌128-2
藤原 崇人	(書評)高井康典行著『渤海と藩鎮―遼代地方統治の研究』	内陸アジア史研究34
古松 崇志	金國の正旦・聖節の儀禮と外國使節	東方学報94
毛利 英介	十五年も待っていたのだ！―南宋孝宗内禪と対金関係	アジア遊学233
劉曉／高橋康浩 訳	例の援く可き有り、法の守る可き無し―元代の判例とその法律編纂	中国社会科学院歴史研究所・東方学会・渡邊義浩編『学際化する中国学―第十回日中学者中国古代史論壇論文集』汲古書院

[明・清]		
荒武 達朗	明清華北の地域社会と宗族-莒州の事例研究	人間社会文化研究(徳島大学)27
磯部 淳史	太宗ホンタイジとたばこ-清初の烟禁令をめぐって	アジア史学論集11
伊藤 正彦	休寧県27都5図所屬人戸の娶妻範圍	唐宋変革研究通説10
臼井 佐知子	(書評)大澤正昭著「商人たちの告訴状-明代日用類書の事例から」	法制史研究68
臼井 佐知子	中国明清時代以降の文書管理-地域社会における行政と文書管理	歴史学研究984
大澤 正昭	明代日用類書の法制史関係史料-告訴状指南を例に	『ハンドブック』
大田 由紀夫	(書評)新宮学著『明清都市商業史の研究』	歴史(東北史学会)132
大野 晃嗣	明朝と豊臣政権交渉の一齣-明朝兵部発給「劄付」が語るもの	東洋史研究78-2
岡本 真	運用面からみた日明勘合制度	『国書』
小川 快之	碑刻資料	『ハンドブック』
小野 達哉	清末重慶の義渡をめぐる社会的構図	東アジア研究70
菊池 秀明	太平天国「封建」王朝論-皇帝を否定しきれなかった救世主	アジア文化研究45
岸本 美緒	契約文書	『ハンドブック』
岸本 美緒	(書評)新宮学著『明清都市商業史の研究』	歴史評論828
木下 慎梧	清代中国における府の初審機能-越訴の受理と審理に着目して	『身分と経済』
キム ハンバク	清代の「里程配流」-五軍道里表の改訂をめぐって	史林102-5
木村 可奈子	勘合とプララーチャサーン-田生金「報暹羅國進貢疏」から見た明末のシャムの国書	『国書』
呉金成/渡昌弘 訳	明代提学官制の一研究(上)(下)	人間と環境10, 11
伍 躍	清代宝坻県知県表稿	東アジア研究71
小二田 章	『西湖志』にみる清初期杭州の地方志編纂-清朝の文化統治政策を中心に	東洋文化研究21
五味 知子	清代の告示からみた地方官と士民-『点石齋画報』を手掛かりに	聖心女子大学論叢134
佐立 治人	清朝の立法・刑罰・裁判	関西大学法学論集68-5
佐立 治人	呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注(7)	関西大学法学論集69-4
時 堅	明末地方軍費管理の一考察-奢安の乱における黔餉を中心として	東洋学報100-4
錢 晟	崇禎買弁改革と北京牙行の実相	東洋学報101-3
高遠 拓児	清代刑事裁判関連史料	『ハンドブック』
谷口 規矩雄	清代中期、民間に於ける火薬・火器の私造、私販について	愛大史学:日本史学・世界史学・地理学28
谷口 規矩雄	清代中期に於ける火薬・火器の使用状況について	研究論集(河合文化教育研究所)14
張 九龍	明清会館組織の研究動向について	人文論究68-4
張青瑤/齊会君 訳	清代山西北部地区の土地利用の変化及び原動力の分析	学習院大学国際センター研究年報5
豊嶋 順揮	明代成化・弘治年間の海上密貿易をめぐる法整備	立命館東洋史学42
西川 和孝	雲南下層社会への漢字リテラシーの普及-明清代を中心として	アジア遊学231
荷見 守義	監軍陳效と「万曆朝鮮の役」-監察領域を中心に	人文社会科学論叢6
濱島 敦俊	明代法制史料	『ハンドブック』
春名 徹	台湾漂着日本船の掠奪事件	南島史学87
古市 大輔	清代後期の永陵正白旗満洲喜塔臘氏に関する初步的考察-清代盛京旗人官僚家族史研究のための基礎作業の一環として	金沢大学歴史言語文化学系論集. 史学・考古学篇11



龐 森	清朝における言論統制と弾圧－『三言二拍』の展開を中心に	岩下哲典・矢森小映子・塚越俊志・小林哲也・関良基・橋本真吾・永江貴子・濱口裕介・安田震一・龐森・土屋真一・中川仁・吉田雅子・藤田賀久『東アジアの弾圧・抑圧を考える－19世紀から現代まで日本・中国・台湾』春風社
彭 浩	明代後期の渡海「文引」－通商制度史的分析からの接近	『国書』
堀地 明	(書評)新宮学著『明清都市商業史の研究』	社会経済史学84-4
堀地 明	清代北京の官治消防と火災消火活動年表	北九州市立大学外国語学部紀要149
松浦 茂	ネルチンスク条約と口清両国の国境－清朝における解釈の歴史	アジア史学論集11
宮寄 洋一	山西省北部の災害とその対応－明清時代、代州・五臺の事例	鴨台史学15
明律研究会・井上充幸・猪俣貴幸・豊嶋順揮	譯註『皇明條法事類纂』卷四八・刑部類・斷罪引律令 譯註稿(上)	立命館文学662
明律研究会・井上充幸・猪俣貴幸	譯註『皇明條法事類纂』卷四八・刑部類・斷罪引律令 譯註稿(中)	立命館文学663
山本 英史	清代檔案史料	『ハンドブック』
山本 英史	中国地方志が伝える地域社会－万曆『秀水県志』抗租記事を題材として	慶応義塾大学言語文化研究所紀要50
山本 一	清代、督撫による地方官人事からみる王朝統治の一側面	史林102-4
	[近・現代中国]	
赤城 美恵子	(図書紹介)西英昭著『近代中華民国法制の構築－習慣調査・法典編纂と中国法学』	法史学研究会会報22
味岡 徹	政治 北京政府と第2回国会	近代中国研究彙報41
阿部 由美子	中華民国北京政府期の清室優待条件下における北京旗人社會の一側面－護軍都護副使、古物陳列所所長・治格の経歴をてがかりに	東洋史研究77-4
荒川 雪	建国初期の中国外交部での組織構築に関する一考察－中国外交部档案を手がかりに	アジア文化研究所研究年報54
有澤 雄毅	中国の社会主義化と司法体制－「司法改革」運動を中心に、一九四九－一九五三年	法学政治学論究：法律・政治・社会120
池田 辰彰	日本統治時代初期台湾の社会事業の構築と発展	南島史学87
大澤 肇	汪兆銘南京國民政府下における學校教育の展開	東洋史研究77-4
緒形 康	(書評)中村元哉著『中国,香港,台湾におけるリベラリズムの系譜』	歴史学研究986
岡本 真希子	植民地統治初期台湾における法院通訳の人事－制度設計・任用状況・流動性	社会科学(同志社大学人文科学研究所)48-4
小野 博司	日本統治期台湾の経済社会法に関する覚書	神戸大学法政策研究会編『法政策学の試み』信山社
賀 衛方	世祚遐久(皇統永続)と君主権への制約	ワセダアジアレビュー21
何 娟娟	清末山東省における日本製紙幣の導入	東アジア文化交渉研究12
加藤 道也	植民地官僚の統治認識－知と権力の観点から	『知と権力』
加藤 靖子	1920年代中国における女子高等教育機関をめぐる一考察	アジア教育13
加藤 雄三	第二次世界大戦後における中英平等新約の履行－租界資産清理委員会の設置過程	専修法学論集135
加藤 雄三	(書評)片山剛編『近代東アジア土地調査事業研究』	法制史研究68

金子 肇	中国議会専制史小論－孫文の国民大会制と共産党の人民代表大会制を中心に	研究中国8
金子 肇	中華民国期の議会選挙とその政治的含意	歴史と地理724
金子 肇	政治 新約法体制の立憲的可能性と第一次世界大戦	近代中国研究彙報41
岸 佳央理	植民地行政当局の下層民統制－三門仔水上居民と船灣淡水湖建設	アジア遊学234
倉田 徹	(書評)中村元哉著『中国,香港,台湾におけるリベラリズムの系譜』	中国研究月報73-3
吳 迪	近代中国の憲法制定と明治憲法	法学政治学論究：法律・政治・社会122
孔 穎	明治期の東京警監学校と清国留学生	東アジア文化交渉研究12
河野 正	(書評)山本真著『近現代中国における社会と国家－福建省での革命、行政の制度化、戦時動員』	現代中国93
小西 豊治	孫文の直接民主制構想－県自治共同体の創出	政治経済史学631
小堀 慎悟	二十世紀転換期の香港と衛生問題－集権化と地方自治・経済的自由主義のはざままで	アジア遊学234
崔 淑芬	近代中国における師範教育の創立	筑紫女学園大学研究紀要14
笹川 裕史	国民の義務として兵士になるという憂鬱－1950年代半ば、義務兵役制の導入と上海の青年たち	『歴史家の調弦』
座間 紘一	中華人民共和国成立前後の土地改革の今日的意味	研究中国9
清水 美里	植民地台湾の水資源における「公」と「私」のせめぎ合い	歴史学研究990
莊英章／星野麗子訳	日本統治時代における台湾郷紳宗族の婚姻モデルと婚姻圏－新竹北埔の姜氏宗族を事例に	『家族・民族・国家』
鈴木 哲造	日本統治下台湾における医学教育制度の形成と展開－内地の医学教育制度との「共通性」と「差異性」に着目して	中京法学 54-1・2
鈴木 秀光	(書評)久保茉莉子著「南京国民政府時期における刑事訴訟法改正と自訴制度、同「南京国民政府時期における刑事上訴制度」	法制史研究68
須藤 瑞代	(書評)方祖猷著『晚清女権史』	中国女性史研究28
関 智英	汪精衛政権の憲政実施構想－日中戦争と憲政	歴史学研究982
曾 文亮	日本統治期における台湾人家族法と植民地統合問題	『知と権力』
陳 証媛	「台湾島史観」から植民地の知を再考する－植民地台湾における「知と権力」をめぐって	『知と権力』
陳添輝／松田恵美子訳	(翻訳)台湾民法の法律継受と学説継受	名城法学68-3・4
土屋 光芳	清末・民国期の中国人の「留学経験」と政治・社会の民主化－汪精衛と宋教仁、胡適と林語堂、湯良禮と周化人	『アジア留学生』
鶴園 裕基	送還、登録、法的地位－占領期在日中国・台湾人に対する移動管理の始動(1945-1947)	現代台湾研究49
程 書嘉	清末山西省留日学生の地方自治思想の受容	中国研究月報73-6
董 秋艶	清末中国中央政府の「日本モデル」教育改革－1901年の新政に着目して	大学院教育学研究紀要(九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門)21
中生 勝美	領台初期の原住民調査	『知と権力』
中野 昇	満洲国裁判制度から見る少数民族統治－ユダヤ教の宗教裁判を事例として	歴史地理教育900
西 英昭	中華民国北洋政府期法院訴訟記録	『ハンドブック』
西 英昭	中華民国初期における中国法制史学展開過程の一断面－教科書の分析を中心に	法政研究86-2
西 英昭	中華民国北洋政府期の“法理学者”李忻とその三部作	法政研究86-3

西田 真之	植民地法制萌芽期における「判事」と「判官」をめぐる論議	明治学院大学法学研究107
新田 龍希	胥吏と台湾の割譲－南部台湾における田賦徴収請負機構の解体をめぐる	日本台湾学会報21
早丸 一真	一八六〇年代初頭における天朝の定制と外政機構の変動－中国近代外交形成論批判	国際政治197
春山 明哲	法学者・岡松参太郎の台湾経験と知の射程－植民地統治と「法の継受」をめぐる	『知と権力』
東山 京子	台湾総督府と恩赦制度－台湾総督府文書の恩赦記録から	中京法学 54-1・2
東山 京子	門類別分類から見た台湾総督府文書研究	社会科学研究39-2
平井 新	(書評)中村元哉著『中国、香港、台湾におけるリベラリズムの系譜』	アジア研究65-4
巫 靚	1910年代後半から20年代後半までの台湾総督府の渡航政策－台湾人の台中間渡航を中心に	日本台湾学会報21
彭 高明	中国江南地域社会と合作社の組織化－南京国民政府期、一九三〇年代の江蘇省・丹陽県の事例を中心として	史境77・78
松井 直之	副島義一の「立憲制」の概念－中華民国南京臨時政府法制顧問としての副島義一に着目して	政経論叢87-3・4
松田 京子	一九三〇年代の台湾原住民女性をめぐる統治実践－「助産婦」養成事業を中心に	南山大学日本文化学科論集19
三品 英憲	1940年代後半における中国共産党各級組織の華北農村社会認識について－土地改革と社会構成	和歌山大学教育学部紀要.人文科学69
水羽 信男	(書評)中村元哉『中国、香港、台湾におけるリベラリズムの系譜』	現代中国93
宮内 肇	「国民政府建国大綱」実現への模索－1930年代の広東省における地方自治論	孫文研究64
宮古 文尋	「立憲」の胎動－清朝朝廷の「立憲」構想	史学研究303
宮古 文尋	清末中国の公使接見儀礼－皇帝權威の誇示と失墜	『歴史家の調弦』
宮畑 加奈子	日本統治期台湾における都市法制の展開－固有法の内在化を契機として	広島経済大学研究論集41-4
村上 衛	洋銀と紋銀－開港直後の厦門における海關銀號問題を中心に	東方学報94
村上 一博	日治期台湾における台湾人弁護士の誕生	『アジア留学生』
村田 遼平	清末北京粥廠考－光緒九年を中心に	東洋学報100-4
杜崎 群傑	(書評)中国の議会専制の系譜を追う[金子肇著 近代中国の国会と憲政－議会専制の系譜]	東方465
葉 亭亭	戦後初期台湾に於ける漢奸懲罰政策と台湾社会の反応－公民権停止を中心に	北東アジア地域研究25
吉田 慶子	中国法の近代化における翻訳の影響と異なる時期の特徴	語学教育研究論叢(大東文化大学語学教育研究所)36
吉田 庆子	《法律进化论》的翻译出版以及周边	中国言語文化学研究8
李 冬松	清末、日本を経て受容された「nationality」について	語学教育研究論叢(大東文化大学語学教育研究所)36
劉 建雲	清末中国人日本留学の政策と郭開文の日本留学－郭沫若兄弟の日本留学研究において出会ったいくつかの問題をめぐる	白鷗大学論集34-1
林 政佑	植民地台湾における監獄作業に関する一考察	日本台湾学会報21
林 政佑	日本統治時代台湾における未成年者犯罪の処遇－裁判実務に着目して	『身分と経済』
[朝鮮]		
梓澤 和幸	徴用工判決と金景錫事件	法と民主主義.537
李 穂枝	(書評)森万佑子著『朝鮮外交の近代－宗属関係から大韓帝国へ』	歴史評論833

李 英美	(書評)河野亮著「保護国期大韓帝国における民籍法制定の経緯とその意義-治安対策および財政政策との関連から」	法制史研究68
岡崎 まゆみ	外地・朝鮮の内地人弁護士による朝鮮認識-1930年代・『法政新聞』による	法史学研究会会報22
岡崎 まゆみ	旧韓末期朝鮮の日本影響下における「訴訟観」の変化	『法を使う』
岡崎 まゆみ	「帝国」としての民法学へ-京城帝国大学の民法学者を中心に	『知と権力』
川上 詩朗	韓国徴用工裁判の経緯、判決の概要と今後の取り組みについて	法と民主主義.537
川上 詩朗	元徴用工の韓国大法院判決について	季論21 44
川西 裕也	(書評)矢木毅著「朝鮮時代の有旨書状について」	法制史研究68
金 泰賢	植民地朝鮮における言論統制	Global-local studies(神戸女子大)12
桑野 栄治	朝鮮顕宗代の朝清関係と望闕礼	久留米大学文学部紀要国際文化学科編36
高 東煥／長森美信訳	朝鮮後期偽造犯罪の蔓延と『氷魚船事実』	朝鮮学報252
小松 正之	韓国漁業養殖業制度, 政策の変遷と課題-日本の漁業制度との比較	東アジアへの視点30-1
鈴木 敬夫	戦前朝鮮の「皇国臣民化」と人権-法治としての「同化」	札幌学院法学36-2
田中 美彩都	旧韓末における養子制度の運用実態-新聞記事の分析を中心に	韓国朝鮮の文化と社会18
鄭 東俊	新羅における中国王朝の地方行政制度の影響について-漢~唐の地方行政機構との比較を中心に	朝鮮学報253
鄭 勛晋／橋本繁訳	扶余双北里百濟遺跡出土木簡の性格-二〇一一四番地および三二八-二番地出土木簡を中心に	木簡研究41
豊島 悠果	金朝と高麗	アジア遊学233
林 真貴子	岡崎まゆみ報告ならびに上田理恵子報告へのコメント-日本近代法史の立場から	『法を使う』
原 智弘	朝鮮における科挙廃止後の官吏任用制度	帝京大学外国語外国文学論集25
韓 巨熙	シンポジウム報告「京城(キョンソン)地方法院資料」の現況と活用	水平社博物館研究紀要21
萬歳 寛之	日韓請求権協定と韓国徴用工判決	論究ジュリスト30
水野 直樹	朝鮮民族運動における「平等原則」と衡平運動	部落解放研究211
森 万佑子	(書評)李穂枝著『朝鮮の対日外交戦略-日清戦争前夜1876-1893』	歴史評論827
森田 太三	中国人強制連行強制労働事件の解決事例と韓国徴用工問題解決への展望	法と民主主義.537
矢木 毅	朝鮮初期における兵制の改革-特に「甲士」設立の意圖とその變質について	東方学報94
山内 民博	1852年朝鮮『平安道中和府壬子式年戸籍』初探	資料学研究16
山下 昭子	韓国法務士制度の沿革について-朝鮮総督府時代を中心に	Think: 司法書士論叢117
山本 晴太	韓国・徴用工判決「解釈」を変えたのは誰か?	世界916
山本 晴太	日韓の戦後処理の全体像と問題点	法と民主主義.537
吉川 絢子	植民地朝鮮の離婚請求訴訟と「慣習」-1911年~1923年、京城地方法院判決の分析を中心に	年報朝鮮學22
吉澤 文寿	最近の植民地支配責任をめぐる動向について-二〇一八年一〇月の韓国大法院の判決などを糸口に	歴史評論835
吉田 文茂	衡平運動家の人物像-「衡平青年前衛同盟事件」史料から見えるもの	部落解放研究210
吉田 光男	(書評)田中美彩都著「植民地期朝鮮における異姓養子制度の認容とその影響-近代における「儒教的」家族制度の展開の一側面」	法制史研究68

割石 忠典	朝鮮衡平運動史研究発展のために(3)-慶尚北道及び大邱広域市での踏査	部落解放研究211
[北アジア・中央アジア・内陸アジア]		
磯貝 真澄	(書評)帯谷千可編著『社会主義的近代とイスラム・ジェンダー・家族(一)』	法制史研究68
岩田 啓介	青海モンゴル盟旗制支配をめぐる清朝の政策方針-18世紀前半の牧地の画定からみる	内陸アジア史研究34
額定其勞	奴隸なのか、従属民なのか-清代モンゴルにおける主従関係と人身売買	『身分と経済』
岡 洋樹	(書評)王長青著「清代モンゴルの「会盟に下した命令書」(ciγulγan-du baγulγaγsan jarliγ-un bicig) -作成の経緯を中心に」	法制史研究68
小沼 孝博	清末ホヴド地区における清朝統治の再編とカザフ人	東北学院大学論集. 歴史と文化59
岸本 美緒	(書評)谷井陽子著『八旗制度の研究』(東洋史研究叢刊之七十九) 杉山清彦著『大清帝国の形成と八旗制』	史学雑誌128-3
財吉拉胡	日本占領期の内モンゴル西部における医療衛生の近代化	アジア経済60-2
財吉拉胡	「満洲国」以前の東部内モンゴルにおける近代日本の医事衛生調査	東北アジア研究23
Sarengerile	『元朝秘史』における狩猟習俗の二つの性質	千葉大学ユーラシア言語文化論集21
白川 紘惟	清代嘉慶12年の青海におけるチベット人頭目討伐未遂事件とその処理過程-清朝中枢の現地地方官およびチベット人頭目に対する裁定	社会文化史学62
杉山 清彦	ジュシェンからマンジュヘー-明代のマンチュリアと後金国の興起	アジア遊学233
関根 知良	康熙元年のザサグト=ハーン殺害事件と清朝-ハルハ左翼の交渉過程	内陸アジア史研究34
谷井 陽子	(書評)王天馳著「順治朝における旗人の法と刑罰-内閣題本を中心に」	法制史研究68
谷川 春菜	清代モンゴルにおける銀の流通状況-19世紀前半のウリヤスタイを例に	史滴41
塚瀬 進	研究史検証-清代満洲史を研究した川久保悌郎の業績について	News letter(近現代東北アジア地域史研究会)31
中村篤志・Sh. ムンフートル	清代モンゴルのフレイ以南14駅に関する基礎的考察	内陸アジア史研究34
野田 仁	遊牧民の法と社会-ロシア統治下カザフ草原における19世紀前半の変容	『ユーラシア』
萩原 守	清代モンゴルにおける犯罪者の捕獲期限	法制史研究68
哈木格図	近代内モンゴル民族主義運動における思想と運動-民族主義運動組織化の思想的枠組み(1924~1933年)	文明科学研究14
増井 寛也	八旗創設期のグサ分領制とその基底について-特にsalibumbiとの関連から見た	立命館東洋史学42
八木 啓俊	ティムール朝とバダフシャー政権-ティムール朝在地勢力支配の解明に向けて	内陸アジア史研究34
[東南アジア]		
傘谷 祐之	外国法制・実務 植民地期カンボジアにおける法典編纂(1)	法務省法務総合研究所国際協力部報 81
河合 文	半島マレーシアにおける土地制度の導入と民族-クランタン州ルビル流域を事例として	マレーシア研究7

北川 香子	マリカ王女と「ユカントール王子の遺産」ー植民地期カンボジアにおけるー王族の家族、家計と子どもの養育について	東洋学報 101-1
熊谷洋輝・山名義之	仏領期ベトナム北部における小学校の標準化に関する研究ーフランスの小学校の設計基準に着目して	日本建築学会計画系論文集 757
小林 和夫	日本占領期ジャワにおけるイスラーム教理の制度化ーバンドゥン県のバイトウル・マル(baytoel-mal)の事例	SOCIOLOGICA 43-1・2
新保 敦子	(書評)山口元樹著『インドネシアのイスラーム改革主義運動ーアラブ人コミュニティの教育活動と社会統合』	日本の教育史学：教育史学会紀要62
リム スレイスロツ	カンボジアにおける不動産法制度の発展と課題ー現地調査と具体的事案を踏まえて	早稲田法学会誌 70-1
竹野 富之	現代マレー社会におけるイスラーム法体制と世俗法体制の相克ー喫煙、婚前のHIV検査義務化に関するファトワーをめぐる議論に焦点をあてて	南山考人47
西川 慧	ミンカンバウ特別州を夢見てーインドネシア西スマトラ州におけるアダットとイスラームのダイナミズム	東北人類学論壇18
Naw Say Say Pwe	Educational Effect on Karen People during the Colonial Period	岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 48
浜本 一典	(書評)塩崎悠輝著『国家と対峙するイスラームーマレーシアにおけるイスラーム法学の展開』	法制史研究68
松村 智雄	(書評)篠崎香織著『プラナカンの誕生ー海峡植民地ペナンの華人と政治参加』	中国研究月報73-2
山本 博之	(書評)篠崎香織著『プラナカンの誕生ー海峡植民地ペナンの華人と政治参加』	マレーシア研究7
	[南アジア]	
長尾 明日香	出版の自由」と「弾劾」ー1820年代インドにおける植民地高官の不安	人文研究：大阪市立大学大学院文学研究科紀要70
	[西アジア]	
阿部 尚史	(書評)ハーシェム・ラジャブザーデ(編著)、江浦公治(協力)、森本一夫(序文)『カージャー朝期イランの法的権利関連・司法関連文書および宗教生活関連文書』	法制史研究68
岩本 佳子	(書評と紹介)KONDO Nobuaki, Islamic Law and Society in Iran : A Social History of Qajar Tehran	イスラーム世界91
内田 直義	20世紀後半エジプトにおける農村部への近代的イスラーム学校の拡大ー住民の「自助努力」による学校設置過程に着目して	比較教育学研究59
小澤 一郎	19世紀末イランの兵員徴用と社会ーイラン・イスラーム議会図書館所蔵『歩兵徴用簿』の検討から	オリエント62-1
金谷 美沙	(書評)高尾賢一郎『イスラーム宗教警察』	中東研究 2018年度3
小杉 泰	イスラーム法における「ハラール」規定をめぐる考察ー「ハラール/ハラーム」の2分法と法規定の「5範疇」の相関性を中心に	イスラーム世界研究12
早矢仕 悠太	アブー・ユースフ『租税の書』の解題と翻訳	イスラーム思想研究1
松尾 有里子	オスマン帝国近代における女子師範学校(一八七〇ー一八九八)ー公教育制度の発展と女性教師たち	お茶の水史学 62
村山 さえ子	アッバース朝後期バグダードにおけるワアズー都市における権力者・知識人・民衆の接点としての説教	お茶の水史学 62
八木 久美子	家族概念から見る近代国家のなかのイスラームー20世紀後半のエジプトを例に	東京外国語大学論集99

柳橋 博之	(書評)大河原知樹・堀井聡江・シャリーアと近代研究会『オスマン民法典の研究 売買編』、同『オスマン民法典の研究 賃約編』	法制史研究68
[アフリカ]		
小野 仁美	「家族」概念と近代的ジェンダー規範－イブン・アーシュールの著作を通して(特集現代イスラームにおける「伝統」の継承とジェンダー)	ジェンダー研究21
坂井 信三	仏領西アフリカにおけるイスラーム教育改革の連続と断絶－セネガルとマリの三つの事例	アカデミア. 人文・自然科学編17
芹生尚子・小田原琳	特集4 統治の実践と植民地－フランス領フランス島(現モーリシャス島)とイタリア領アビシニア(現エチオピア)の事例を通じて－解題	Quadrante: クアドランテ: 四分儀: 地域・文化・位置のための総合雑誌 21
カトリーヌ ドニノ 正本忍(訳)	フランス島ポール＝ルイにおける警察署(1767～1789年)－パリの警察モデルは植民地の島にどのように適用されたか	Quadrante: クアドランテ: 四分儀: 地域・文化・位置のための総合雑誌 21
馬場 多聞	十三世紀のアデン港課税品目録における東アフリカの輸出品	立命館史学 40
堀内 隆行	生体認証国家の広がりと限界－20世紀初頭南アフリカ・ケープ植民地の移民法と排華法をめぐって	金沢大学歴史言語文化学系論集. 史学・考古学篇11